

⑩【新潟県厚生農業協同組合連合会 新潟医療センター】

住 所	〒950-2022 新潟県新潟市西区小針 3-27-11		病床数：399床
診療科目	内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、病理診断科、心臓血管外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、放射線科、皮膚科、精神科、心療内科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、麻酔科、歯科、小児歯科、歯科口腔外科、内分泌・糖尿病内科、腎臓内科、消化器外科、乳腺外科		
研修責任者名	佐久間 一弘（教育研修センター長）	連絡先：soumu@niigata-medical.jp 025-232-0111（代表）	連絡先担当者名：佐久間 一弘（教育研修センター長）
新臨床研修医指導実績	・新潟大学臨床研修病院群研修プログラム採用 平成23年度：4人、24年度：6人、25年度：4人、26年度：3人、27年度：2人、28年度：5人、29年度：2人、30年度：3人、令和元年度：3人、2年度：1人		
研修受け入れ可能診療科※	学会認定専門医数	学会認定指導医数	
必修：内科（内科、循環器、消化器、脳神経内科、内分泌・糖尿病、呼吸器内科）、外科（消化器一般外科） 選択研修：泌尿器科、整形外科、麻酔科、病理診断科	内科（循環器）5人、内科（消化器）5人、内科（肝臓）4人、内科（消化器内視鏡）3人、内科（神経）5人、内科（糖尿病）1人、内科（内分泌代謝）1人、内科（呼吸器）4人、外科（外科）2人、外科（消化器）2人、外科（脳）2人、泌尿器科2人、整形外科3人、皮膚科1人、形成外科1人、麻酔科1人、病理診断科1人	内科（内科学会教育関連病院指導医）12人、内科（呼吸器）2人、外科（消化器）1人、内科（糖尿病）1人、内科（内分泌代謝）1人、内科（消化器）2人、内科（消化器内視鏡）1人、内科（神経）2人、外科（脳）1人、泌尿器科2人、臨床細胞学会細胞診1人、麻酔科1人、日本臨床腫瘍学会2人、病理診断科1人	
施設の概説・特徴			
当院は、ベッド数399床（介護病棟、緩和病棟を含む）の総合病院で、多くの学会研修指定病院になっており、一般的な医療から高度な医療にまで幅広い症例を経験できるものと考えている。また、救急医療にも積極的に取り組み、昼夜を問わず救急患者を受け入れ、救急患者に対する処置についても研修医が参加し、十分な研修ができるものと考えている。			
研修受け入れ可能診療科の説明			
内科：循環器内科では、冠動脈や末梢血管のカテーテル治療、不整脈に対するアブレーション治療を行っている。また、紹介や救急搬送も多く、心臓全般に関して幅広く経験できる。消化器内科では、腹部の基本的診察、内視鏡および超音波の基本手技、治療内視鏡の見学を研修項目にしている。脳神経内科では、脳梗塞などの脳疾患を中心に診察を行い、週1回画像検討会で各症例を検討している。呼吸器内科では、病歴聴取、身体診察、胸部画像診断、血液ガスを含めた呼吸生理学、人工呼吸管理等を指導している。内分泌・糖尿病内科では、大学との選択となり、地域の外来・入院診療、併診・多職種協働の実際を体験する。 外科◆：腹腔鏡手術でのスコピスト、開腹、縫合、閉創など手術への参加、周術期管理、終末期医療等の経験により外科の基本的知識、手技の習得を目指す。 整形外科：基本的な知識や手技、救急外来での初期対応など、どの科の医師になっても身につけておくべき内容を基軸として、スポーツ外傷や膝疾患の先端的治療から骨折手術まで広く研修することも可能。 泌尿器科：尿路結石については診断から内視鏡手術中心とした治療を完結でき、症例数も非常に多い。 麻酔科：気道確保・血管確保などの手技の習得と呼吸・循環管理を中心とした麻酔管理を学ぶ。他に各種ブロックや術後疼痛管理も研修する。 病理診断科：本院を含む北越地区の厚生連3病院の病理センターとして、生検・手術組織を年間5,000件、細胞診検体10,000件を診断し、病理解剖とCPCも行っている。			
研修の概説と特徴			
当院は「優しく、ゆっくり、何度でも」「安全・安心な研修」を基本方針とし、基礎的事項を特に重視した研修を行っている。また各科の枠を超えた連携のスムーズさも特徴であり、各科の医師だけでなく様々な部門のスタッフが協力して指導に当たっている。			
研修医の当直			
原則として月2回（次の日の勤務は午前中のみ）、うち1回は内科輪番日を担当する。指導医とともに診療に当たる。希望によりファーストタッチを行う。年間約2,000台の救急車を受け入れ、救急医療にも力を入れている。			
処 遇			
●給与：1年次（月額基本給）350,000円（諸手当）、当直手当19,400円/回、時間外手当（厚生連の規定による）、研究・学会出張費あり 2年次（月額基本給）380,000円（諸手当）、当直手当19,400円/回、時間外手当（厚生連の規定による）、研究・学会出張費あり ●食事：院内には、売店、有。 近所には、食堂等があり、出前も可能である。 ●宿舎：住居手当あり（上限50,000円 所得税法に定める住宅使用料は自己負担） 自宅から通勤する場合は、通勤手当支給。 ●居室：研修医専用室有。 ●図書・文献：国内・国外の医学図書、医学雑誌等を揃え、教育用シミュレーターを完備。 ●インターネット環境：医局内にインターネット環境有。個人利用可。			

※「必修」で掲載されている診療科は、「選択研修」でも研修可能です。
◆令和4年度当院での外科（必修）担当科の1つであり、研修の際は、基本的な外科手技と全身麻酔手術時の周術期全身管理能力を修得する。

協
力
型
病
院